

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

2014
Feb
Vol.670



表紙写真説明

「軽トラ新鮮弁当」(トラ弁) 試食モニター
(岩国市中通商店街振興組合)

特集

平成25年度補正 平成26年度当初 中小企業・小規模事業者関係予算案の概要

- ーいま、これを伝えたい!ー
企業組合 工房HaHa
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」
ウサガワ有限会社
下関鍍金株式会社
- 組合等ニュース
- 地域商店街活性化事業の採択商店街活動紹介
岩国市中通商店街振興組合
- 景況動向
- 平成25年度決算・税務講習会のご案内
- やまぐち6次産業化・農商工連携ネットワーク促進交流会出展者募集並びにご案内

「いま、これを伝えたい！」

新たな取り組みで、「攻め」の活動を展開

企業組合 工房HaHa

【設立の経緯】

4月に法人化した「里の厨事業協同組合」の施設内で、惣菜等を販売していた女性グループが、光市地域の農林水産物を使った菓子、惣菜を直売するとともに、女性の能力を活かし、地域の食材等の加工品の開発・製造販売を行うことにより、地域の雇用の創出と所得の向上を図り、地域の活性化を図るために昨年9月に15名で組合を設立しました。

【地産地消の推進】

同組合は、任意のグループとして活動している時から、地域の農林水



山本理事長

産物等を中心に使用した安心・安全な菓子、弁当、惣菜等の加工品は好評で、積極的な事業展開をしています。

組合設立後は、法人になったことで、山本理事長を中心に責任体制が整備され、里の厨事業協同組合と連携し、「地産地消」をモットーに農林水産加工品の製造販売を中核の事業として実施するとともに、新商品の開発等についても積極的に検討を進めています。

売上も順調に伸びており、初めての決算については黒字決算になる見込みで、組合の財政基盤強化についても堅実な取り組みをしています。

【新たな取り組みで、「待ち」から「攻め」へ】

現在、組合が、開発に取り組んでいる惣菜等をはじめとする新商品は、「日持ちのするお菓子」を中心に企画されています。山本理事長は、「このお菓子を光市の冠山公園等の観光地



(企) 工房HaHa特製のお弁当

に置いてもらえるお土産品として、光市を代表するお菓子にすることが夢です。」と語っておられました。

2つめの取り組みとして、組合を一層活性化するために、後継者の育成を挙げられました。現在、若い組合員の方にいろいろなセミナーに積極的に参加させているとのことでした。

また、厚生労働省の「業務改善助成金」を活用して、計画的な賃金の引き上げをするとともに、食品加工に必要な設備の導入を検討されています。

山本理事長は、「これからは、顧客を待つ姿勢から、積極的に販売する「攻め」の姿勢への転換を目指します。」と力強く語られました。

企業組合 工房HaHa

【組合概要】

- 代表者：山本百合恵
- 組合員数：15名
- 組合住所：光市大字東荷2391-19
- ☎ 0820-49-0831 FAX 0820-49-0832

【組合の主な活動】

菓子、惣菜、弁当等の農林水産物加工品等の製造及び販売



「里の厨事業 (協)」の店舗内の風景

平成25年度補正 平成26年度当初 中小企業・小規模事業者関係予算案の概要

中小企業・小規模事業者の革新

(1) 黒字企業の倍増

○ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業
126.0億円(新規)

中小ものづくり高度化法に規定する特定ものづくり基盤技術を全面的に見直し、新たに、環境・エネルギーや医療分野などの成長分野にも対応した技術を活用した研究・開発から製品の販路開拓まで一貫して支援し、数多くのグローバルニッチトップ企業の創出を図る。

○中小企業・小規模事業者連携促進支援事業 10.8億円(新規)

新事業活動促進法や農工商連携促進法に基づき、中小企業・小規模事業者等が連携して行う新商品開発や販路開拓等を支援する。

○中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業

22.8億円(新規) + 関連25補正8.0億円

ジェトロ及び中小機構が連携し、海外市場等に関する情報提供を行うとともに、国内外の展示会出展や海

外展開の実現可能性(F/S)調査などの支援を行う。加えて、新たに海外での常設展示場を設置するなど、中小企業・小規模事業者の海外展開を戦略的に支援する。

平成25年度補正予算案における関連事業

◇中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業

1,400.0億円

ものづくり補助金の対象を商業・サービスを拡大し、1万1千社を超える中小企業・小規模事業者の試作品開発、新ビジネスモデル開発、生産プロセスの改善、生産性向上、老朽化設備の新陳代謝を含めた事業革新を支援。

◇中小企業・小規模事業者海外展開支援事業 8.0億円

ジェトロ及び中小機構が連携し、海外販路や技術等を有する外国企業とのマッチングやASEAN等での展示会・商談会の開催を通じ、海外販路開拓を支援するとともに、中小企業海外展開現地支援プラットフォームにより海外での法務・労務等の課題解決や移転・撤退等を支援する。

(2) 開業率10%の実現

○地域創業促進支援事業

7.5億円(新規)

年間5000社以上の創業を目指し、全国300箇所、創業希望者の基礎知識の習得からビジネスプラン作成までを支援。

○中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(後掲)

○地域商業自立促進事業

39.0億円(新規) + 関連25補正

180.0億円

インキュベーション施設の整備、空き店舗への店舗誘致や店舗の集約化による商店街のコンパクト化等を支援し、商店街の新陳代謝を進める。加えて、地域の消費活動のベースとなる機能を強化するため、コミュニティスペースの整備等を支援。

○中心市街地活性化事業等

12.0億円(新規) + 関連25補正

45.0億円

中心市街地活性化のための新たな計画認定制度の創設などの制度整備を進め、周辺地域の経済活力を向上させる波及効果がある特に優れた民間プロジェクトを支援する。加えてタウンマネージャーの育成等を通じて、多様なまちづくりを支援する。

○中小企業・小規模事業者経営力強化融資・保証事業

9.5億円(新規)

認定支援機関の支援を前提とした、日本政策金融公庫による創業・経営多角化事業に対する低利融資(基準金利△0.4%)等を整備することで、経営力強化を図る。

また、国民生活事業において、追加の金利負担なく無担保・無保証で貸し付けを受けられる限度額を1,500万円から2,000万円に拡充する。さらに、女性・若者・シニアによる創業に対する金利を引き下げ(基準金利△0.65%)。

○事業引継ぎ支援センターの全国展開

44.4億円の内数(43.4億円の内数)

課題の解決に向けた適切な助言、情報提供及びマッチング支援等を行う「事業引継ぎ支援センター」を全国展開するとともに、親族内承継に対する支援を強化。

平成25年度補正予算案における関連事業

◇創業促進補助金 44.0億円

新たな需要を創造するビジネスを興す者に対して、創業費用の一部を補助。また、産業競争力強化法における創業支援事業者が、認定創業支援事業計画に基づき行う創業者支援の取組の費用の一部を補助。

◇商店街まちづくり事業 127.0億円

商店街組織等が、地域の行政機関等からの要請に基づいて、地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備の整備（子育て支援施設の整備、高齢者向けの御用聞き型宅配サービスの提供等）を行う場合の補助。

◇地域商店街活性化事業 53・0億円

消費を喚起するイベントや商店街のセール実施のほか、イベントの効果を持続させるための商店街の体質強化に資する人材育成研修事業等を支援。

◇中心市街地活性化事業 45・0億円

中心市街地において、地元商店街に対する経済効果が大きく及ぶ事業であり、かつ、商店街等の地域経済全体が便益を享受できる事業に絞って、事業化可能性調査や商業施設の整備等の費用の一部を補助。

(3) 小規模事業者に焦点を当てた施策展開

○中小企業・小規模事業者ワンス トップ総合支援事業

41・2億円（新規）

地域の支援体制を強化するため、様々な経営課題を解決するための具体的なアドバイス、支援機関等の連携促進等を行う「よろず支援拠点」を各都道府県に整備するとともに、個別具体的な経営課題に対応するた

めに専門家派遣を実施。また、支援ポータルサイト「ミラサポ」を通じて経営相談等の体制を構築。

○小規模事業者等 JAPAN プラント育成・地域産業資源活用支援事業 14・6億円（新規）

農林水産品や伝統工芸品などの地域の資源を活用し、①小規模事業者等が連携して行う世界に通用するブランド確立のための海外販路開拓等の取組や、②小規模事業者等が地域資源活用促進法に基づき行う商品開発等の取組（小規模事業者等が4社以上で行う取組を重点的に支援）を支援する。

平成25年度補正予算案における関連事業

◇小規模事業者に焦点を当てたパッケージ型支援 144・6億円

商工会・商工会議所と一体となつて行う、小規模事業者の創意工夫ある地道な販路開拓等を支援するとともに財務分析等の基盤整備を図る。ものづくりの技術・技能の継承や企業間出向等による人材育成。海外展開支援（新興国等におけるワンス

トップ相談窓口の拡充や海外からの撤退時の法的支援の強化、現地商談

の開催等）。「経営者保証に関するガイドライン」を周知する。

(4) 消費税率引上げに伴う監視・取締り体制

○消費税率引上げに伴う取引状況監視・検査の徹底

46・0億円（19・8億円）＋関連25年補正34・6億円

取引上の立場の弱い中小企業・小規模事業者は、取引相手から転嫁拒否等の違反行為を受けている旨を自ら申し出にくいという実態があることから、悉皆的な書面調査を実施し、474人体制で積極的な情報収集・取締りを実施する。

平成25年度補正予算案における関連事業

◇消費税率引上げに向けた総合的な対策 34・6億円

弱い立場にある取引先（納入業者・下請業者・運送業者等）に消費税率引上げ分を負担させることのないよう相談窓口の設置（全国の商工会・商工会議所等）や出張相談等を行う。

(5) 資金繰り・事業再生支援

○きめ細かな資金繰り支援 236・8億円（229・5億円）

＋関連25補正1、352・0億円※ ※うち、財務省計上821億円

日本政策金融公庫への利子補給等や信用保証協会の財務基盤強化を行い、中小企業・小規模事業者に対する資金供給の円滑化を図る。

○中小企業・小規模事業者の事業再生を支援

44・4億円の内数（43・4億円の内

数）＋関連25補正3・5億円

事業の収益性はあるが、財務上の問題を抱えている中小企業・小規模事業者の経営改善・事業再生を支援するため、中小企業再生支援協議会の常駐専門家による窓口相談・再生計画策定支援、モニタリング等を行う。

平成25年度補正予算案における関連事業

◇経営支援と一体となった資金繰り支援 1、352・0億円

（うち、経済産業省計上531億円、財務省計上821億円）

原材料・エネルギーコスト高の影響や消費税率引上げに備え、セーフティネット貸付の拡充や、借換保証の推進を通じて、経営支援と一体となった資金繰りを支援する。さらに、日本政策金融公庫等において設備新陳代謝、所得増加及び創業等、前向きな事業展開に向けた取組の支援や「経営者保証に関するガイドライン」に対応した融資を促進する。

◇中小企業再生支援協議会の機能強化 3・5億円

再生計画策定支援の着実な実施に向けて、中小企業再生支援協議会の体制を強化。また、中小企業再生支援全国本部を機能拡充（産業競争力強化法にて措置）。

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」 その3

『食品スーパー市場進出に向けた生産工程のボトルネック解消による生産能力の向上』



代表取締役
宇佐川 滋氏

ウサガワ有限会社

- (技術分野) 組込みソフトウェア、冷凍空調、プラスチック成形加工
- (類型) 設備投資のみ
- (形態) 生産プロセス強化
- (会社概要)

ものづくり補助金の活用により、切身ロボットに新たなソフトウェアを組み込み、新たなニーズに対応することができ、それに合わせ、高速包装機の導入により、増産、コストダウンが図られる計画としております。また、増産に伴い、冷凍設備を整えることで、製造工程の一連の流れを構築でき、生産能力を向上させることが可能となり、さらなるコストダウンが図られるものと期待しています。

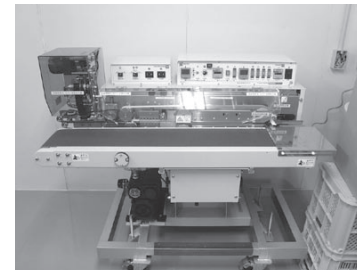
当社は、昭和42年に創業し、学校給食を対象に魚加工製造業を営んでいる。今後、少子化の影響から、児童・生徒数が減少し、学校給食市場が縮小されることが予測されています。

そこで、当社では、企業連携し、食品スーパー市場に本格的に市場参入したいと考えています。食品スーパーのニーズは、個包装や短納期の面など、学校給食のニーズとは異なる部分があり、そのニーズに対応するための取組みを行っています。

- (事業概要) 既存の学校給食市場から食品スーパー市場への市場開拓を図るため、製造工程のカット、包装、冷凍の製造工程におけるボトルネックを解消、高度化し、コストダウンと生産性及び生産能力の向上を図りたいと考えています。

ウサガワ有限会社

〒742-1111
山口県熊毛郡平生町大字佐賀2054番地の4
TEL : 0820-58-1144 FAX : 0820-58-1602
URL : <http://www.usagawa.co.jp/>



高速包装機

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」 その4

『高品質厚付無電解ニッケルめっき装置の開発』



代表取締役
岩佐 裕児氏

下関鍍金株式会社

- (技術分野) 鍍金
- (類型) 試作開発+設備投資
- (形態) 生産プロセス強化
- (会社概要)

ものづくり補助金により、当社の受注増、売上増につながり収益性の向上、さらには雇用増が期待できると確信しております。

当社は、昭和29年9月に設立され、湿式めっき、アルマイト、湿式研磨といった表面処理を中心に60年間、多方面のユーザーニーズに応え技術の研鑽に努力を重ねて来ました。

創業は、耐摩耗性を必要とする工業用(硬質)クロムめっきからスタートし、現在までに耐摩耗性、硬さや肉盛り性に優れた硬質クロムめっき、装飾ニッケルクロムめっき、寸法精度が必要な無電解ニッケルめっき、アルマイト処理、電解研磨及び化学研磨といった多種多様に対応できる表面処理を幅広く展開しています。

(事業概要)

今回の開発は、厚付け無電解ニッケルめっき皮膜の品質劣化の原因となっているザラ(異物を取り込んだめっき皮膜)発生を抑制することにより、皮膜の高品質化を図るため、ザラの発生源となるめっき浴中の異物や分解生成物等を常時又は間欠的に除去できる濾過循環システムを開発するものです。

高品質の厚付け無電解ニッケルめっきが可能となった際は内製化が可能となり、短納期対応等の付加価値が付与され、新たに自動車分野のピストン部品や医療分野のモーター部品等にも用途が拡大されると期待しています。

下関鍍金株式会社

〒750-0323
下関市長府港町7-13
TEL : 083-245-0171 FAX : 083-245-5069
E-mail : smk@bronze.ocn.ne.jp
URL : <http://www.s-m-k.co.jp/>



無電解ニッケルめっき槽

全国の「がんばる中小企業・

小規模事業者300社」及び

「がんばる商店街30選」に

本会会員が選定されました！

経済産業省が、革新的な製品開発、サービスの創造や地域貢献・地域経済の活性化等、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者・商店街の取組事例を「がんばる中小企業・小規模事業者300社」及び「がんばる商店街30選」として全国から選定しました。本会会員から、「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に協同組合田布施地域交流館（守田英正理事長）が、「がんばる商店街30選」に天神町銀座商店街振興組合（坂本恵次理事長）がそれぞれ選ばれました。

（協）田布施地域交流館は、地域で最も売上と集客をあげる直売所で、300人超の地元事業者が組合員となり、10名を超す地元雇用も実現するなど、地域の生活交流拠点として重要な位置づけにあることが評価されました。

天神町銀座商店街（振）は、感

謝を表す地元の言葉である「幸せます」から商店街の愛称を「幸せます通り」として、来街者への「おもてなし」を実践し、地元防府商工高校の生徒による販売実習、チャレンジショップ、観光情報館、居宅介護有料老人ホーム、子育てサロンをいずれも空き店舗を有効に活用して整備・実施していることが選定理由となりました。



天神町銀座商店街（振）
「幸せます通り」



（協）田布施地域交流館直売所

地域商店街活性化事業の採択商店街活動紹介

「軽トラ新鮮弁当」（トラ弁）の試作に取り組み

岩国市中通商店街振興組合

今回は、「トラ弁商店街活性化プロジェクト」『軽トラ新鮮弁当』をテーマに、平成25年度地域商店街活性化事業を実施している岩国市中通商店街振興組合（松川卓司理事長）を紹介します。

は、生産者が、野菜や加工品を軽トラックに載せて商店街で販売し、消費者はこれらを購入して持ち帰るスタイルでした。

当商店街は、JR岩国駅前の便利な立地にあり、アーケード設備やカラー舗装などを備える岩国市内でも有数の活気のある商店街です。地域住民のコミュニティの役割を担い、様々なイベントや事業を展開し、住みやすい街、親しみやすい商店街を目指して積極的に活動を続けています。

今回、採択された事業では、軽トラ市の仕組みを基盤にし、「軽トラ新鮮組」に参加する農家の生産物を使った新たな健康志向の弁当（トラ弁）を企画、製造及び試供を行い、商店街のコミュニティ機能強化を目指した調査を行い、事業の策定を行います。これまでに、「軽トラ新鮮組」試食モニター」を5回開催し、「トラ弁」の知名度を高め、来街者の増加を図っています。



中でも、月に一度のイベント「軽トラ新鮮組」（平成21年度から取り組んでいる路上軽トラ市）は、中山間地域と中心市街地との交流促進に大きく貢献しています。

「軽トラ新鮮組」へ参加している生産農家は、全て岩国市内の広域に住居又は農場を持ち、多くの方は地域毎の特性を生かし、安全性に配慮した農産物や加工品作りをされています。今までの軽トラ市で

お問い合わせ先

岩国市中通商店街振興組合
〒740-0018
岩国市麻里布町3丁目13-2
TEL 0827-22-3987
FAX 0827-22-3987
URL: <http://www.nakadoori.jp/>

月次景況調査結果

平成25年12月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

県内の「業界の景況(前年同月との比較)」は、良いと感じている人が、11月期より若干増加している。

12月期では、建設業で、入札案件はあるが、低入札で経営環境が改善されない状況と、鉄筋・型枠・とび・左官等の専門職確保が困難なことから、入札を辞退する業者もあり、関係する他の業種でも影響が出ている。

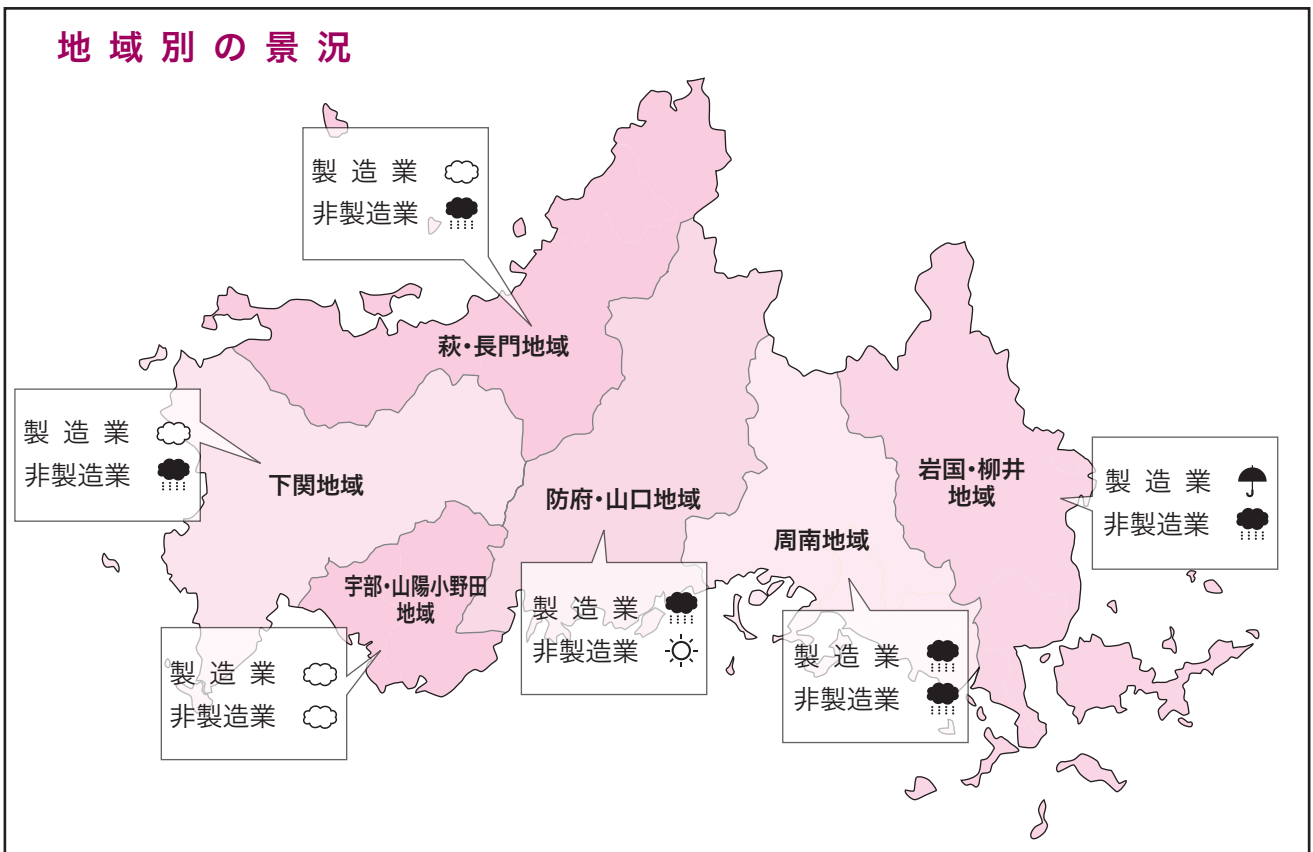
アベノミクス効果については、一般機械器具製造業や生鮮・魚介卸売業の報告によると、「若干上向き」や「前年に比べて確実に良くなって来ている」との報告であるが、特殊産業用機械製造業や商店街で「効果が出ていない」また、業種によっては依然として「円安による原材料や燃料費の高止まりが収益を圧迫している」との報告もある。依然として良否が混在している状況で、景気の回復を実感するにはもう少し時間がかかりそうである。

	業 種	12月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	↗
	織 維 工 業	☁	→
	木 材 ・ 木 製 品	☁	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☁	→
	一 般 機 器	☁	→
	輸 送 機 器	☂	→
非 製 造 業	卸 売 業	☀	↗
	小 売 業	☁	→
	商 店 街	☁	→
	サ ー ビ ス 業	☂	↘
	建 設 業	☀	→
	運 輸 業	☁	↘

DI値

- 30以上 …………… ☀ -30以上-10未満 …… ☁
- 10以上30未満 …… ☂ -50以上-30未満 …… ☂
- 10以上10未満 …… ☁ -50未満 …………… ☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成25年12月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ ケーキの単価は上昇せず、クリスマス商戦は前年並み。(パン・菓子製造業) ○ 12月は+5.1%と前年同月を大幅にクリア。天候に恵まれ商材も豊富で売上好調となり、12/31の売上はこれまでの成績を越えた。(水産食料品製造業)
	繊維工業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税増税を控え、コストダウンの要請が強く、新製品の方にシフトが進んでいる。一段と海外品が増え、国内産衣料は激減した。企業の経営は縮小均衡が続いており、新規雇用はほとんど出来ない状況。(下着類製造業) ○ 現在順調に仕事が入ってきている。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木材価格が上昇傾向、新設住宅着工戸数も増加しつつある。全体的に木材需要等が増えてきている。(山口市)
	印刷	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料の価格、特に紙代の値上げにより利益が圧迫されそうである。他社との競合が激しいので価格転嫁も厳しいのが現状。ただ、この機会に新規取引先を見つけるチャンスでもある。(印刷)
	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石材加工では、協力土木・建設業の人手不足が影響し、仕事が進まないことがある。また、「石材の加工技術者」が少なくなってきており、後継者不足となっている。(石工品製造業)
	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仕入単価の上昇で収益が悪化している。(一般機械器具製造業) ○ 大型小売店向け鉄骨構造物製造の組合員は引き続き好調。自動車関連で操業度70%の組合員もあったが、1月からは受注の引き合いや契約成立が増える模様。景気が若干上向き傾向になっていると思える。(一般機械器具製造業) ○ 低価格、短納期、品質向上の要求も厳しくなっている。期待していたアベノミクス効果は今現在、中小企業には無い様に思う。新規立ち上げの製品が少しずつ動き始めたところだが、期待する受注量が確保できるのは、まだ先になりそう。(特殊産業用機械製造業)
	輸送機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送機部門は26年の春まで低調な状況で推移する様子。プラント部門は全体的には小康状態であるが、精密加工部門は数ヶ月作業量に恵まれる見通し。(鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部建設関連では忙しくなっている模様。その他では変化なし。(柳井市) ○ 地方には景気が遅れてやってくるというが、12月に入って徐々に売上が回復している。前年に比べて確実に良くなって来ている。(生鮮・魚介卸売業)
	小売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年末商戦で忙しい状態。大手化粧品メーカーの在庫適正化の為、売れない商品等の回収があり、店頭在庫が減少した。(化粧品小売業) ○ 今月も売上、客数とも前年割れという厳しい状況が続いている。共同店舗内の大型電機店は、他電器店の閉店により、売上は前年よりアップ。(長門市)
	商店街	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ アベノミクスは目下のところ影響なし。むしろ年金受給金額の減少と灯油等の値上がりで光熱費の高騰等が影響し、消費が落ち込んでいる様子。(萩市)
製 造 業	サービス業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 後継者不在の工場が約半数である。業界を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、少子高齢化に伴う顧客減少や新技術対応に苦慮している。(自動車整備業) ○ ビジネスホテル等は業績が良かった。年末の宿泊観光客の動きは良かったが、平日の動きが鈍く前年並みにならなかった模様。もう少し辛抱がいる状況。(旅館業) ○ 入浴者数は前年に比べ増加しているが、燃料費等の高騰により収益は依然として厳しい。(旅館業) ○ 昼間の客数は増加したが、客単価が低く収益増加とはならなかった。(飲食業)
	建設業	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共工事は引き続き増加傾向にあるが、低入札のため、経営環境の改善には至っていない。建築・土木工事とも、鉄筋・型枠・とび・左官等の専門職確保が困難なことから、入札を辞退する業者が増加している。(土木工事業)
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送関係は鉄鋼素材等の国内運搬が活発である。輸出は横ばい状況。本月の売上高は前年同月比でプラスマイナスゼロであった。(一般貨物自動車運送業) ○ タクシーチケットの取扱い金額は、前年同月比マイナス1.8%。燃料価格はプラス6%で経営を苦しめている。平成24年6月以降続いている売上減少の減少幅は小さくなった。(一般旅客自動車運送業)

平成25年度決算・税務講習会のご案内

- 日 時 平成26年3月6日(木) 13:30~16:30
- 場 所 小郡ふれあいセンター 2F 集会室 (山口市小郡下郷1440-1 ☎083-973-0003 *駐車場有)
- 講 師 富田税理士事務所 所長 富田哲也 氏

○日程及び内容

13:30~14:50 **【決算・税務編】** 決算及び消費税、組合関係税制について

年度末を迎え、決算整理から決算関係書類(①事業報告書、②財産目録、③貸借対照表、④損益計算書、⑤剰余金処分案及び損失処理案)の作成方法や留意点、脱退者の持分の払戻方法、組合特有の経理処理等について学びます。

知っておきたい税務の基本事項や消費税増税への対応、26年度組合関係税制の改正、組合特別税制(①利用分量配当の損金算入、②賦課金の仮受金経理、③留保所得の特別控除)等について学びます。

14:50~15:00 休憩

15:00~16:30 **【税務申告編】** 申告書の基本的な作成について

組合税務申告書の基本的な作成手順(法人税等の申告書記載と税額の計算)等について学びます。

- 対象者 組合役職員や組合経理担当者等(定員70名)
- 資料代 1人 1,000円(当日、受付で申し受けます。)
資料名「中小企業組合関係税制のあらまし」
- 持参物 電卓、筆記用具をご持参ください。
- ※お申込み・お問い合わせ 連携支援第一課(担当:洗川) ☎083-922-2606

やまぐち6次産業化・農商工連携ネットワーク促進交流会出展者募集並びにご案内

- 1 開催日時 平成26年2月25日(火) 10:30~16:30
- 2 開催場所 「ホテルかめ福」紅梅の間、ロイヤルホール 山口市湯田温泉4-5
- 3 主催: 山口6次産業化サポートセンター(公益財団法人やまぐち農林振興公社)
共催: 山口県商工会連合会
後援: 山口県、山口県農業協同組合中央会、山口県漁業協同組合、公益財団法人やまぐち産業振興財団、山口県中小企業団体中央会、山口県商工会議所連合会、中小企業基盤整備機構中国本部
- 4 出展料・参加料 無料
- 5 内 容 開 会 10:30
第1部 基調講演 10:40~12:10(紅梅の間)
「地域農林水産物を活用した加工特産品の繁盛指南」
株式会社キースタッフ代表取締役 鳥巢 研二 氏
第2部 実践講義 13:00~14:20(紅梅の間)
「商品価値の伝え方(〜パッケージ・食品表示の観点から商品の魅力を考えよう〜)」
オフィスヒューミック代表 渡貫 久 氏
第3部 交流会 14:30~16:30(ロイヤルホール)
6次産業化や農商工連携の取組等により各事業者等が開発した商品や試作段階の製品について、展示・試食を行うとともに、来場者や参加事業者間での情報交換等の実施。鳥巢講師による商品相談コーナーも設置。
※同会場にて、プランナーによる個別相談会を実施。
- 6 出展予定者 企業組合、協同組合、六次産業化法認定事業者、農商工連携促進法認定事業者、地域資源活用促進法認定事業者、やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク会員等
- 7 参加予定者 農林漁業者、農林漁業生産者団体、食品製造業者、流通業者、農商工支援機関、大学・公設試、国、県、市町等(約300名)

※お問い合わせ先 連携支援第二課(担当:山根) ☎083-922-2606

今月の

さわやかレター

2014
Feb



周南生コンクリート協同組合
久次由貴子さん

現在、総務全般を担当されている久次さん。組合柳井事務所に6年間勤務され、昨年4月より、本部にて事務を執っておられます。昨年には、「コンクリート技士」の資格を取得されました。

趣味を伺うと、「バドミントンです。短大から始め、チームにも所属しています。」と答えられました。

モットーは、全てにおいて楽しむこと。

事務局職員としては、取引先等からの電話の対応には明るく、また、接客は笑顔を絶やさないと心を掛けているそうです。

組合のPRをお願いしたところ、「本組合は、良質な生コンクリートの安定供給を図るため、組合員一同が一致団結して、生産した生コンクリートの共同販売事業を行っています。また、技術向上のための研修及び研究も山口県生コンクリート工業組合と連携を図りながら積極的に取り組んでいます。生コンのことならお気軽にご連絡下さい。」と笑顔で応えていただきました。

表紙写真

「軽トラ新鮮弁当」(トラ弁) 試食モニター
(岩国市中通商店街振興組合)

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社